

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度第2回長岡市障害者自立支援協議会
2 開催日時	令和7年3月28日（金曜日） 午前10時00分から午前11時30分まで
3 開催場所	長岡市社会福祉センタートモシア 3階 多目的ホール
4 出席者名	（委 員） 大崎 良彦 会長 湯本 昭一 副会長 五十嵐 江身子 委員 五十嵐 佐枝子 委員 井田 智子 委員 小田島 奈緒子 委員 加瀬 由紀子 委員 菊入 恵一 委員 桑原 拓 委員 近藤 哲雄 委員 鈴木 裕平 委員 鈴木 陽子 委員 林 修一 委員 船越 愛 委員 穂苅 友紀兒 委員 山崎 文男 委員 山田 薫 委員 山田 洋子 委員 （事務局） 福祉保健部長、子ども家庭センター所長 福祉課長、福祉課長補佐 福祉課障害者基幹相談支援センター長 福祉課障害者基幹相談支援センター係長 福祉課障害支援係長、福祉課障害活動係長 ほか関係職員 越路ハイム地域生活支援センター 障がい者支援センターあさひ 相談支援センターふかさわ分室サンスマイル
5 欠席者名	山崎相談支援専門員、上村相談支援専門員、稲川相談支援専門員、織田相談支援専門員
5 議題	（1）専門部会からの報告 （2）今年度の障害者自立支援協議会の振り返り （3）各団体からの情報共有について
6 審議の内容	

発言者	内 容
障害者基幹相談支援センター長	令和6年度第2回長岡市障害者自立支援協議会を開会いたします。開会にあたりまして、長岡市福祉保健部長よりご挨拶申し上げます。
福祉保健部長	皆様おはようございます。ご紹介いただきました長岡市福祉保健部長の水島でございます。 昨日は非常に暖かい1日でございましたけれど、今日は一転、肌寒い日となりました年度末のお忙しい中、このように大勢の皆様が集まっていただきまして感謝申し上げます。 そして、今日は年度末の会議として、1年間、皆様が部会活動などを通して議論いただいた結果を共有することが目的です。国の法律も様々変わり、制度も変わり、障害者を巡る環境は整っている面もございますが、その一方で、まだまだ解決していない問題がたくさんございます。 ありがたいことに、長岡市はこのように大勢の方からご協力いただいております。市民の皆様とその課題をしっかりと共有し、そしてまた次年度に繋げるきっかけをこの会としたいと思っております。 今日は皆様のご報告を頂戴しながら、忌憚のないご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
障害者基幹相談支援センター長	それでは協議会開催要領第6条第1項の規定によりまして、協議会の進行は会長が議長とするとされております。 これ以降の議事進行は会長からお願いいたします。 それでは会長よりよろしくお願いいたします。
会長	おはようございます。 今日はまさに年度末というお忙しい中、お集まりいただいて本当にご苦労様です。 それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思います。拙い進行でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、進行にご協力いただきたいと思います。 次第2、専門部会からの報告になります。 部会から報告していただきまして、質問は全てが終わってから聞かせていただきたいと思います。
障害者基幹相談支援センター職員	次第2、専門部会からの報告 ① 相談体制部会 (資料No.1-1、1-2、1-3、1-4、1-5、1-6により報告)

A 委員	② 就労部会 (資料No.2-1、2-2により報告) ③ 地域づくり部会 (資料No.3-1、3-2により報告) ④ サービス受け皿検討部会 (資料No.4により報告) ⑤ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議の場 (資料No.5により報告) いつも長岡市立高等総合支援学校の教育活動にご理解とご協力いただきましてありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。 私の方からは質問意見というよりも、御礼と当校の状況についてお話をさせていただきたいと思います。 まずは、サービス受け皿検討部会で計画実施された、強度行動障害に関する研修についてです。 サービス受け皿検討部会が推進役となり、長岡市全体で強度行動障害に関する理解を深める研修をしていただけたこと、大変ありがたく思っております。当校職員も参加させていただきました。様々な立場の方と一緒に考える有益な機会だったと話しておりました。 2つ目は当校高等部3年生の進路の状況についてお話をさせていただきたいと思います。 以前は特に行動上の課題が大きい生徒など、支援度の高い生徒は卒業後の受け入れ事業所が限られ、難しい状況にありました。その後、生活介護事業所がいくつか新規開設され、少ない日数からでも利用を開始することができ、少しずつ利用日も増えているようです。ありがたく思っております。 ただ既にそれらの事業所も、多くの方が利用されている状況だと聞いております。今後も支援度の高い生徒が続々と卒業していく状況です。まだまだこの心配は継続されると感じております。 また、医療的ケアのある生徒はもちろんですが、医療的ケアのない生徒も含めて、車椅子を利用している生徒の進路先が限られているということも大変難しい進路の課題となっていますし、就労継続支援B型事業所を希望する生徒が多くなっている傾向もあります。 学校としましては生徒たちが卒業後、地域の中でそれぞれに合った居場所を見つけ
------	---

福祉課障害支援係職員	けられることを願っております。 卒業生に関しましては、令和7年10月から選択支援事業が開始されます。その前に就労継続支援B型事業所を利用される方や、他の生徒さんも含めて夏休みあたりに体験利用が入ってくるかと思います。そのあたりの状況も踏まえまして、生徒さんにより合ったサービスが卒業後利用できるよう、今後も検討させていただきたいと思います。
B 委員	先日、講演会の中で家族支援について話がありました。その内容が素晴らしく、家族として感じたことをお話しさせていただきます。 本人への対応で家族は疲弊し、混乱し、どのように対応していいかわからない状態です。それを皆さんの相談対応や強度行動障害の対応で、受け止めていただけるといいと思います。家族が落ち着いて穏やかになることが本人の回復にも繋がっていきます。もちろん私達家族会も、勉強していかなければならないことがたくさんあると思いましたが、できましたらその辺りを考慮しながら、相談体制や受け入れ体制の中で家族を含め、家族の話もよく聞いていただけるととてもありがたいなと思っております。 具体的な案ではなく申し訳ありませんが、感じて思ったことを述べさせていただきました。
福祉課長	家族支援がとても大切だと思った事例が今年度ございました。 引きこもりの支援を今年度から長岡市として本格的に取り組むようにいたしました。4月にひきこもり相談支援室という組織を立ち上げ、取り組みを進めています。その中で現場の声を聞くにあたり、当事者への支援は当然大切なんです、家族への支援がそれと同じぐらい大切だとよくわかりました。 そういったこともございまして、ひきこもりに限らず、障害をもつ当事者への支援はもちろん大切ですが、同じように家族への支援も重要であると考えていかなければならないということを実感しましたので、今後とも家族支援を大切に考えて取り組みを進めてまいりたいと考えております。
障害者基幹相談支援センター職員	次第3、今年度の障害者自立支援協議会の振り返り (資料№6により説明)
会長	今年度におきましては春先に報酬改定があり、長岡市の福祉計画も1年目であり、それに対応するのに大変な1年だったと思っています。その中でも本会議では本当に関係者の皆さんから頑張ってもらって進めていただいて、それぞれの課題について真摯に向き合って取り組んでいただいたと思っております。

副会長	本日、また新たに来年度に向けた方針なども示され、それに向けて来年度もしっかり取り組んでいくことが大事だと思っております。 あともう一点、この自立支援協議会は、普段、地域で生活なさっている障害をおもちの方や、家族の方、支援に携わる事業所の方などにご参加していただき、その意見が部会、運営会議、全体会に挙がり、最終的には行政にもしっかり声が届く大事な時間だと思っております。そのあたりを十分に活用するためにも、もっと市民の皆さんに協議会というものを知っていただく必要があると感じております。今後そのあたりの課題も含め、長岡市の行政の方も一生懸命取り組んでいただいておりますので、私たちから何かできることがあれば、一緒に協力して長岡市の福祉を高めていかなければならないと思っております。 今年度から本協議会に参加させていただき、副会長を拝命したところではございますが、まだ数える程度しか関わっていないというのが実情でございます。今回このような形で皆さんのご報告や普段の取り組みを頭が下がる思いで拝聴しておりました。 私自身は、生活介護事業所の施設長およびサービス管理責任者いわゆるサビ管を兼務させていただいております。今年度、サビ管の5年に1回の更新研修がございまして、この2月に県の自治会館で研修を受けてまいりました。 その事前課題が地域との協働というテーマで、地域の自立支援協議会について、わかることを記載するという課題が出されます。 私は5年前にも更新研修を受けましたが、その時は自立支援協議会についての資料を作成するときにネットで検索したり、少しだけ参加させていただいたワーキングの資料をひっくり返ししながら、作った記憶がございます。 今回タイムリーに、また同じような課題が出ておりまして、課題を作成する際に、本当にこの運営会議および全体会のことを想像しながら資料を作成することができたというのは自分にとってとても大きな財産になったと思っております。また、当日はちょうど私が自立支援協議会についての発表者に当たっていたため、ご報告もさせていただいたところであります。部会に参加しているわけではないので、具体的な詳細な説明はできませんでしたが、本当にこのような機会をいただいたことで、自分の中に自立支援協議会のあり方、重要性が少し落ちたと思いながら参加させていただいたというような経過がございます。 ですので、福祉施設で働く私も含めてですが、福祉施設で働く職員でも自立支援協議会のことがあまりよくわからない職員が大勢いるかと思いますし、市民の方々にも、もっと自立支援協議会の意義や内容を知っていただくというのは本当に大事なことだと思いながらお話を聞かせていただいております。大変貴重な機会をいただきましてありがとうございました。
------------	--

子ども家庭センター所長	次第4、各団体からの情報共有について 子ども家庭センターから連絡 (質疑等なし)
障害者基幹相談支援センター長	次第5、その他 次年度の委員の任期等についてです。本協議会における委員の任期は3年間となっております。従って令和8年度までの任期となりますので、皆様におかれましては次年度もよろしくお願いいたします。 また部署異動等で委員の変更等がございましたら、事務局までご連絡をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。なお新年度に当たって、事務局の方でも異動がありました。 この場をお借りしまして報告させていただきます。
福祉課長	このたびの異動で今度は高齢者の福祉の方に異動することになりました。 福祉課長を拝命いたしまして、4年たちました。この4年間を振り返りまして、率直な心象を申し上げますと、地域の障害福祉を進める力は、自立支援協議会をはじめとして、現場の事業所、教育機関、中央支援機関、医療機関などの関係機関および行政が、渾然一体となった人の輪だと非常に強く実感いたしました。 皆様におかれましては、今後とも引き続き、何卒お力を賜りますようお願いを申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。皆様どうもありがとうございます。
障害者基幹相談支援センター長	以上をもちまして、第2回長岡市障害者自立支援協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。
(会長の署名欄)	